



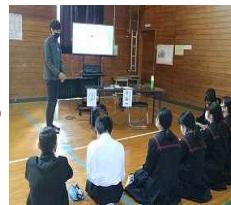
凛々しく

若く 豊く 清く 雄々しく 強く
凜々しく けく く く く

学校交だより
都城市立有水中学校
令和3年11月29日
文責：教頭

生徒会退任式・任命式

11月1日（月）の6校時に、生徒会役員の退任式と任命式が行われました。退任式では学校のリーダーとして活躍してくれた旧生徒会役員の皆さんに感謝状を渡しました。旧役員を代表して生徒会副会長からお礼の言葉がありました。1年間お疲れさまでした。この経験は、今後の人生の中で、必ず自分のプラスになります。本当にありがとうございました。任命式では、新生徒会役員になった7名の生徒に任命状が交付されました。新生徒会長が代表して抱負を述べました。これから1年間学校の中心となって、しっかりと頑張って活動して欲しいと思います。伝統を引き継ぎながらも新しい取組にもチャレンジしてもらいたいです。有水中学校を益々盛り上げてください。



講師の方は次の4名です。

- (株)富田美装 富田 和美 様
- 早川しようゆみそ(株) 早川 薫 様
- 田中書店(株) 田中 佑輝 様
- 社会保険労務士法人コンパス 立山 広将 様

生徒は4つの学年縦割りグループに分かれ、4つのブースで話を聞きました。それぞれのお話の中で、「自分がこの仕事を選んだ理由や仕事の楽しみ」「何か始めるときは先人の知恵に学ぶこと」「会社の基本理念やそういう理念が生まれた経緯」「SDG'sの考え方をどうやって会社に取り入れているか」等、たくさんのことについて語って頂きました。

とてもためになる話や知らなかつた裏話など、魅力のあるものとなりました。準備等を含め携わって頂いた都城法人会（講師4名を含む）の皆様、本当にありがとうございました。

入試説明会 あといけ間に本番がきます。

11月4日（木）6校時、体育館にて「入試説明会」を実施しました。3年生と2年生の全員と、3年生保護者に集まっています。令和4年度入学選抜試験の説明を聞きました。説明の内容は次の通りです。

- 入学願書提出及び入学手続き等に関する注意事項
- 県立高等学校受験の流れと注意事項
- 県立高等学校推薦入学者選抜検査について
- 私立高等学校の受験について
- 提出書類の記入について
- その他注意事項



大きな変更点として、今年度より県立高等学校の推薦入試が大きく変わります。これまで「中学校長の推薦を必要とする」入試でしたが、これからは「中学校長の推薦を必要としない」入試となります。

いわば、推薦を希望すれば誰でも推薦受験ができるになります。今後自分の進路決定に向かって、しっかりとと考え、残りの時間を有効に使い、努力していきましょう。今やることは何かを考え自分の進む道を決めていきましょう。

職業人の話を聞く会

11月9日（火）に「職業人の話を聞く会」を行いました。今回の会は、都城法人会にお願いして、4の方に来ていただき、お話を頂きました。都城法人会は、「法人会は税のオピニオンリーダーとして、企業の発展を支援し、地域の振興に寄与し、国と社会の繁栄に貢献する、経営者の団体です。（都城法人会HPより抜粋）」という理念のもと、税についての啓発活動や社会貢献活動等をされている団体です。

地産地消自炊の日

11月18日（木）に「食育」の一貫として、家庭科の授業を使って学年リレー形式の調理実習を行いました。

メニューの完成後は3年生の入試に向けて「激励」の意味を込めて会食を行います。（入試にかつカレー！！）

2校時からは、調理実習をスタートし、3年・1年・2年の順で調理をしました。メニューは、「カツカレー（自分たちで収穫したさつまいも入り）」「野菜サラダ（学校の花壇で育てた野菜入り）」「スイートポテト（同じさつまいも）」です。協力しながら上手に調理しました。

4校時終了後に会食となり、初めに生徒会役員から3年生への激励の言葉があり、3年生代表のお礼の言葉がありました。その後、たのしく食べました。また、会食には、さつまいもの栽培で畑を貸していただいた米満様ご夫妻と、5校時に「食育講話」をお願いしている高城中学校 校舎栄養職員 亀澤美和先生にもご参加いただきました。おいしいカレーが出来上がりいました。

5校時は、亀澤先生の講話でした。講話の題は、「地産地消・朝ご飯について考えよう」です。お話の中で「地産地消の意味」や「郷土料理」について触れていただきました。最後に、ワークシートを活用して、朝ご飯の大切さについて再確認するために、普段の朝ご飯を書き出したあと、それに何を付け足せばもっとよい朝ご飯になるかについて考えました。生徒それぞれの理想の朝ご飯が出来上がりました。しかし、理想は毎日続けるのがとても大変なので、亀澤先生が、続けられるワンポイントアドバイスをしてくださいました。とてもわかりやすく親しみやすい講話でした。

